

長崎県長崎市における系統用蓄電池の運転開始について

～蓄電池の制御および運用に自社開発の総合 VPP プラットフォームを活用～

豊田通商グループで再生可能エネルギー事業を行うテラスエナジー株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：稲角 秀幸、以下「テラスエナジー」）は、10月26日、長崎県長崎市香焼町に設置した系統用蓄電池（蓄電所）「テラスエナジー長崎香焼エナジーストレージ」の商業運転を開始しました。テラスエナジーが自社で開発した総合 VPP プラットフォームサービス「ReEra（リエラ）」（以下「ReEra」）を活用し、蓄電池の最適制御および運用を行います。

再生可能エネルギー（以下「再エネ」）の導入が進む中、九州をはじめ多くの地域で電力の需給バランスを維持するため再エネ電源の発電を抑制する出力制御が実施されています。2050年カーボンニュートラルの実現に向けた再エネの最大限の導入と活用においても、余剰となる再エネ電力の有効活用や調整力の確保が課題となっています。

こうした中、テラスエナジーは、2022年9月から系統用蓄電池マルチユース事業へ参画し、このほど、電力供給における調整力を提供する役割をもつ系統用蓄電池（出力規模約2,000kW、蓄電容量約5,100kWh）を長崎県長崎市香焼町に設置しました。電力供給量に余裕がある時間帯を中心に蓄電池へ充電した電力を、需給バランスと市場動向に応じ、日本卸電力取引所、容量市場および需給調整市場から、適切な放電先に供給する蓄電池マルチユース事業を行います。なお、本事業の開始にあたり、今後、自社蓄電所向けの電力供給を目的として小売電気事業者の登録を予定しています。蓄電池の運用には、自社開発の ReEra を活用し、AI を用いた蓄電池のマルチユース制御を行います。

本事業を通じて、テラスエナジーは、電力供給の安定化へ寄与することで、再エネのさらなる普及促進を目指してまいります。

■蓄電所「テラスエナジー長崎香焼エナジーストレージ」の概要

所在地	長崎県長崎市香焼町
敷地面積	約 310 m ²
出力規模	約 2,000kW
蓄電容量（初年度）	約 5,100kWh
運転期間（予定）	20年間（2023年10月～2043年9月）
蓄電池種別	リチウムイオン電池
運転開始日	2023年10月26日

■ 「テラスエネルギー長崎香焼エネルギーストレージ」 写真

